令和７年度 地域連携推進会議議事録

１　階催日時 ： 令和 8 年 3 月 27 日（金）10:00～11：30
２　開催場所 ： 社会福祉法人ひだすき　ひだすきホーム
３　出 席 者 ： 委員（利用者代表）　[redacted] 氏
委員（利用者家族代表）　[redacted] 氏
委員（地域住民代表）　[redacted] 氏
委員（地域住民代表）　[redacted] 氏
委員（行政関係者）　杉山 絵美　氏
職員（　理　事　長　）　今吉 秀子
（　管　理　者　）　西岡 靖晃

４　会議

管理者が挨拶を行い、参加委員の紹介後に別紙次第に沿って説明を行った。

（１）地域連携推進会議について

管理者より本会議の趣旨や目的について、厚生労働省から示されている「地域連携推進会議の手引き」を用いて説明を行った。また、資料として手引きの「資料３　構成員向け地域連携推進会議の概要」「資料４　地域連携推進員の手引き」を委員に配布した。

（２）施設の紹介

配布した法人のパンフレットを用いて管理者より委員に説明がなされた。

①施設の概要、沿革

法人、施設の成り立ちについて説明がなされた。

②事業の内容

グループホームを含め、法人で現在実施している他事業（就労継続支援 B 型事業、生活介護事業など）について説明がなされた。

③利用者の状況

現在 6 名のかたが利用されていること、また全員が日中は作業所を利用されながら生活をされていることなど説明がなされた。

（３）利用者の日常生活

普段の生活状況であったり、日中活動はどのような活動をされているかなど説明がなされた。

各議事について説明を行い質疑や意見をうかがった。委員から寄せられた意見とそれに対する答弁は以下の通りであった。

質問）以前にＡ型事業所の大量解雇がニュース等で取り上げられていたが、Ａ型Ｂ型といった事業所はどういった違いがあるか。

答弁）Ａ型は利用者と雇用契約を結んでいるがＢ型はそうでない。そのため利用者に対して支払われる賃金が大きく異なる。また、支払われる賃金は本来は利用者が作

業などを通じて得たお金からしか支払ってはならないルールがあるなか、実態とかけ離れた経営を行っている事業者もあり、その歪みからそのようなことになってしまったと考えられる。

質問）災害時にはどのような対応をしているのか。近年でも台風などにより避難警告が発令されたこともあるが、実際に避難をしたのか。

答弁）事業所として避難計画や防災訓練を独自に行っているが実際に避難所へ避難した経験はない。避難指示が何に起因して発令されたかによるが、例えば津波や大雨といった内容であれば事業所の立地や天候状態をよく確認して避難ができる準備を整えて様子をうかがっている。また、以前に津波による避難指示が発令された際に職員だけで避難所の様子を下見に行ったが、全利用者が避難するには難しい環境だと感じた。また、避難をすることで情緒が不安定になったり他の避難者に迷惑が掛かってしまうような状況に感じたため準備だけして待機したこともあった。安心して避難できる場所の確保は課題だと感じている。

補足）答弁を受け委員からは、実際に例えば中学校は避難所であって避難場所ではなく、あくまで一時的なものとなっているので実際に大災害により避難が必要となりそこで数日過ごすような体制にはなっていない。そういった場所の確保は行政が検討する必要があると思うと意見があった。

また、ホームのあたりは津波や洪水について被害を受けにくいように感じる。少し上にある下山池が決壊してしまった場合は前を流れている川の増水が懸念されるが、池も土手周辺に住宅が新規で沢山建っており、そのことが土手の強化にもなっていると思われるので大丈夫ではないだろうか。しかしそもそもこのあたりの人は、災害がないことに慣れてしまっているので全体的に危機感は薄いように感じている。現在、この地域でも災害計画を策定しているがなかなか難しく感じている。また、策定にかかわる役員も任期が 2 年で終わってしまうことも多く引継ぎはするもののなかなか進み難い状況である。

民生委員などをしているとこの地域でも高齢や独居などで孤独に感じている人も多く問題だと感じている。様々な催しを企画して触れ合う機会などを設けている。

答弁）そのような地域の状況をうかがい、また改めて法人として地域に協力できることはあるか検討したい。また、当法人が同様なことができるわけではないが、以前にうかがった付き合いのある他法人が地域と一緒に取組んでいる例を紹介した。今後、これを機会に法人として協力できることがあればぜひ意見や要望を教えて欲しい。また地域での防災訓練であったり、そのような行事に少しずつでも可能であれば参加させていただくことでより深いつながりができればありがたい。

会議後、施設の案内と今回参加いただいた利用者の居室を見させていただき、以下の感想が寄せられた。

●ひだすき作業所は知っていたが、グループホームがここで活動しているのは知らなかった。このような施設は今後また必要になってくると思われるので、隣の空いている土地など活用して広げても良いのではないか。

●見学した居室について、奇麗に整っていて陽当りも良くいい部屋だと感じた。

●委員として参加して下さった利用者代表に話をうかがったが、特に意見や要望はなかった。初めてこのような会議に参加して面識のない人たちに囲まれていたので緊張もあったのかもしれない。
●法人から地域に対して要望などあるようだったら相談をしてくれて構わない。

雑談の様な内容も挟みつつ事業所と関係者で様々な話ができ、今後に向けての協力体制のきっかけが出来たと感じた。また今後も年に 1 度程度の頻度でこういった会を開催するのでまたの参加協力をお願いし、以上をもって 11:15 に閉会解散した。